

たび日記 No.03

キリマンジャロ登頂記 (タンザニア)

広報情報委員 山口知己



ーアフリカ大陸の最高峰“キリマンジャロ（標高5,895m）”ー

赤道直下にありながら今なお氷河の残る白き山です。
ガイドの村“マラング”から登るマラングルートに登ってきました。

■ Day 1

成田空港からハマド国際空港(ドバイ)を經由しキリマンジャロ空港のあるタンザニアはモシの町へ丸1日かけて到着。車でキリマンジャロガイドーチャガ族の住むマラング村へ移動します。車窓から入るアフリカの風は日本のとは違い土の香りのする乾いた風です。山麓のロッジに宿泊、身体を休め登山に備えます。



山麓ロッジとキリマンジャロ空港

■ Day 2

キリマンジャロ国立公園の登山口マラング・ゲート(1,800m)へ、パーティーに同行するガイドやポーター、コックと挨拶を交わしスタート、最初のキャンプ地マダラハット(2,727m)を目指します。初日はジャングルの中を時差ボケを解消しながら4時間かけてゆっくり登ります。時折猿等の野生動物の姿も見られます。



マラングゲートとマンダラハット

■ Day 3

マンダラハットから次のキャンプ地ホロンボハット(3,720m)へ向かいます。樹林帯を抜けて草原帯へ、いくつかの沢を渡ります。途中ジャイアント・セネシオ等の固有の植物を見ながら進んでいきます。6時間ほど歩いて到着、ここでようやく最高峰のキボ峰が姿を現します。



ジャイアント・セネシオ



ホロンボハット

■ Day 4

ホロンボハットに1日滞在しゼブラロック(4,100m)まで往復します。キャンプの標高で富士山とほぼ同じ高さ、常に雲海の上です。ここからは未体験の高度を経験するのですが、順調に高度順応していれば苦しさは感じません。ゼブラロックの上から見るキボ峰は圧巻でキリマンジャロの壮大さを感じます。



ゼブラロックから見るキボ峰



ゼブラロック

■ Day 5～6

ホロンボハット(3,720m)からキボハット(4,703m)へ、一旦そこから300mほど登り高度順応を終えた後食事、そして仮眠した後、ギルマンズポイント(5,685m)へ向かい(ここで登頂扱いになります)、天候条件がよくまた体調に問題がなければ最高地点“ウフルピーク”(5,895m)に向かいます。高高度での滞在時間を少なくする為このスケジュールになります。十分に高度順応をしている為、高山病は問題なさそうに思いますが、そこはやはり6,000mの高地。



キボ峰のカルデラ部

登るにつれ眠気、吐き気、身体が異様に重く感じます。それでもギルマンズポイントで休憩しないと先に進めない者は下山を促されます。そこからさらに1時間半、やっとの思いでウフルピークが。雲海が遥か下に、空気も薄く平地の半分です、太陽の光が強い。アフリカ大陸最高点に到達です。4,000m峰が遥か下に見えます。言葉に表せない美しさ、そして感動がそこにありました。



山頂標識



消滅危機の水河



キボハット

■ Day 7

登頂したその日のうちにホロンボハットへ、翌日は一気に登山口まで下山です。登山口まで下山後は登頂証明を発行してもらい終了となります。我々の登頂前日までは天候不順でギルマンズポイントから先には進めず、また翌日からも天候が悪かったと事です。非常に幸運でした、最高の景色を最高の晴天の中で最高の体験をさせていただきました。ま～しんどいはしんどかったですが。



ジャングルとキボ峰への道

■ Day 8

最終日はタランギレ国立公園でサファリを見学です。マサイの居住地区を車で走り抜けてサファリへ。動物との距離が想像より近いです。キリマンジャロ、人々の住む都市部、サファリが非常に近い距離に有る事が非常に新鮮で不思議な感じです。ただ自然の偉大さは文明の偉大さを遥かに凌ぐことを実感できた旅でした。アフリカは本当に素晴らしい所でした。



サファリの象



近代的な建築も(美術館とギャラリー)